

1 展示事業 — 1-1 所蔵品展示

ルドンと日本

2020/4/10〔金〕-6/14〔日〕

→ 5/19〔火〕-8/23〔日〕に変更

「ルドンと19世紀末パリの芸術家」「日本におけるルドン受容」「ルドンとわたし」の3部構成による小企画。フランスの画家オディロン・ルドンの作品を中心に会場構成、日本にどのようにしてルドンが紹介されていたのか、また現代の画家がルドンをとおして見つける「わたし」とはなにかを紹介した。

✂ 概要

会場: 岐阜県美術館 展示室1a,b,c

出品点数: 81点

観覧料: 一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは9ページ



春の名品展 日本画と工芸を中心に

2020/4/10〔金〕-7/5〔日〕

→ 5/19〔火〕-7/5〔日〕に変更

春は今が盛りと花々が咲き、色あふれる季節となる。夏には岐阜県の風物詩を代表する「鶉飼」が行われ、緑あふれる瑞々しい季節となる。作家たちが見つめ描き出した春から夏の情景を日本画、工芸の名品から取り合わせ、紹介した。

✂ 概要

会場: 岐阜県美術館 展示室1d

出品点数: 49点 *前期・後期展示替

観覧料: 一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは12ページ



彫刻展示

2020/7/14[火]-8/23[日]

パブリックアートの作家としても有名で、生まれ年も近い3人による岐阜県美術館の所蔵作品を展示。アルナルド・ボモドーロ、ジュリアーノ・ヴァンジ、澄川喜一。類似した野外彫刻はあるものの、今回の出品作は決してマケットではなく、パブリックアートにいたる作例を展示した。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室2b
出品点数:3点
観覧料:無料

作品リストは13ページ



日本画の逆襲 ふたたび

2020/8/28[金]-12/13[日]

2017年に当館で開催した「日本画の逆襲」展では、日本画によってでしかできない表現を創り出そうと挑戦を続ける気鋭の作家をとりあげた。

本展では、「日本画の逆襲」出展後に当館の所蔵となった作品に、当館の日本画コレクションを組み合わせ、今日の日本画の状況の一端を紹介した。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1a
出品点数:12点
観覧料:一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料、()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは14ページ

✂ 関連企画

ナンヤローネ アートツアー(11月22日)



ルドン、西洋美術コレクションから

2020/8/28[金]-12/13[日]

岐阜県美術館のルドン、西洋美術コレクションを中心に、19世紀末から20世紀半ばのヨーロッパにおける絵画の動向を、藤島武二や荻須高德等当時渡欧していた日本人画家の作品を織り交ぜながら紹介した。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1b

出品点数:28点

観覧料:一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料、
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは15ページ

✂ 関連企画

ナンヤローネ アートツアー(11月22日)



寄贈記念 熊谷守一展

2020/9/8[火]-12/20[日]

岐阜を代表する洋画家熊谷守一(1880-1977)の生誕140年にあたり、近年遺族や生前から関わりのあった関係者より寄贈された作品・資料を中心に展示した。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1c,d

出品点数:67点

観覧料:一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料、
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは16ページ

✂ 関連企画

ナンヤローネ アートツアー(11月22日)



工芸・新収蔵品を中心に 2020/9/26〔土〕-12/20〔日〕

工芸は時代の変化と共に表現領域を拡大させ、多様化してきた。伝統を継承しながらも、自らの表現世界を探求し、挑戦し続ける作家たち。本展では近年の収集作品を中心に紹介した。

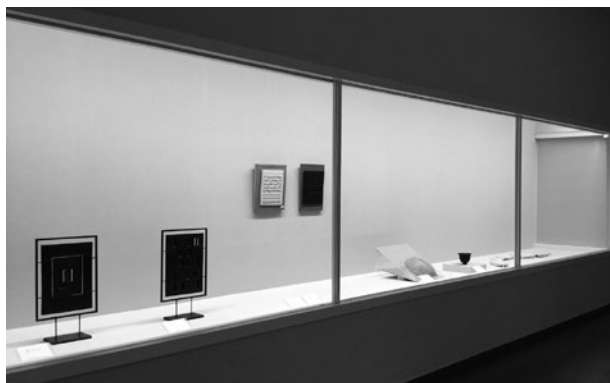
✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室2b,c

出品点数:17点

観覧料:一般 340 (280) 円、大学生 220 (160) 円、高校生以下無料、
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは17ページ



ぎふの日本画 いのちのリレー ～土屋禮一を中心に～

2020/12/18〔金〕-2021/3/28〔日〕

→ 2020/12/18〔金〕-2021/2/28〔日〕に変更

岐阜ゆかりの日本画家の系譜を辿るシリーズ「ぎふの日本画」。第1回目は令和の大嘗祭で主基地方(京都府)の四季を描いた画家、土屋禮一を中心に、父の土屋輝雄、師である加藤栄三、加藤東一、そして土屋禮一の薫陶を受けた次世代の長谷川喜久、林真を紹介した。

いつの時代も問い直される「いのち」をテーマに、人や生き物、樹木などの「いのち」、それを見つめる画家の視点を取り上げた。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1a,b

出品点数:17点

観覧料:一般 340 (280) 円、大学生 220 (160) 円、高校生以下無料、
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは17ページ

✂ 関連企画

ナンヤローネ アートツアー(1月17日)



篠田桃紅と抽象の世界

2021/1/13[水]-3/28[日]

篠田桃紅は、自らの新しいかたちを創りだすことを希求し、抽象表現主義が全盛のニューヨークに渡って、墨による抽象を確立した。無限の墨の表情、そこに表れる時間や空間と向きあい続けた桃紅のかたちを紹介した。同時代の「黒と光の画家」として知られるスーラージュ作品を導入部で紹介し、桃紅の世界性を示す構成。

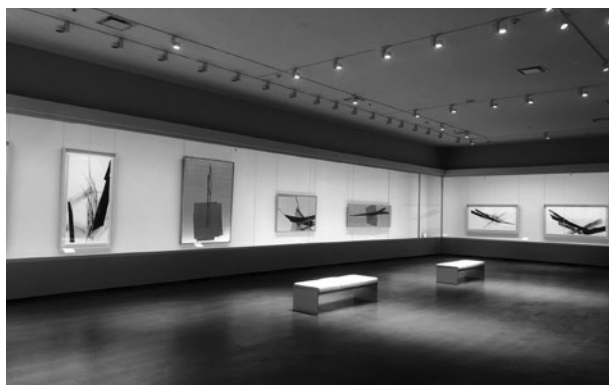
✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1c

出品点数:15点

観覧料:一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料、()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは18ページ



特集・宮島達男

2021/1/13[水]-3/28[日]

1990年制作の《INTERSECT》を2006年に収集して以来、当館で初めての展示となった(展示は2月28日まで)。《INTERSECT》にあわせて《Life Face vol.2》の8点を展示室2bで展示した。《INTERSECT》は「133651」シリーズ中の一作品。1ユニット20桁からなるLEDカウンターを42ユニット使い、床面に規則的に配置することでその上を歩いて鑑賞できる作品である。

✂ 概要

会場:岐阜県美術館 展示室1c,2b

出品点数:9点

観覧料:一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料、()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは18ページ



ルドンと日本

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示
*印は寄託作品 □印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法
展示室1a ルドンと日本—ルドンと世紀末パリの画家			
ピエール＝ピュヴィ・ド・シャヴァンヌ	《慈愛》のための習作	1893-94頃	油彩、紙
ギュスターヴ・モロー	ピエタ 聖セバスティアヌスと天使	1854	油彩、画布
		1876頃	油彩、板
カミーユ・ピサロ	牛の番をする農婦、モンフォー	1875	油彩、画布
オディロン・ルドン	『夢のなかで』表紙＝扉絵	1882	リトグラフ、紙
	王女マレーヌ(小さな聖母)	1892	エッチング、ドライポイント、紙
	シバの女王		木炭、紙
	山上の垂訓または預言者		木炭、コンテ、紙
	手稿		木炭、コンテ、紙
	神秘的な対話	1896頃	油彩、画布
	オリヴィエ・サンセールの屏風	1903	油彩、テンペラ、グアッシュ、画布
	ファエトンの墜落	1905-06頃	油彩、板
	オルフェウスの死	1905-10頃	油彩、画布
	花	1905-10頃	油彩、画布
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	泉	1906-07頃	油彩、画布
ポール・ゴーギャン	ステファヌ・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング、紙
山本 芳翠	若い娘の肖像	1880頃	油彩、画布
	裸婦 【重要文化財】	1880頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	急流のそばの幻影 または妖精たちのランデヴー	1897	油彩、画布
藤島 武二	浴室の女	1906-07頃	油彩、画布
エミール・ベルナール	ボンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
モーリス・ドニ	なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
参考資料	● エミール・ギメ(著)、フェリックス・レガメ(挿画)『日本散策』	1878	書籍
参考資料	● ジュディット・ゴートイエ(著)、山本芳翠(挿画)『蜻蛉集』	1884	冊子
参考資料	『パリ・イリュストレ』山本芳翠カレンダー	1884	冊子
参考資料	『ル・モンド・イリュストレ』掲載 五姓田義松画「日本の祭」	1885	冊子
参考資料	● フェリックス・フェネオン『文学者と芸術家の小年鑑』	1886	書籍
参考資料	● ジャン・フルー(著)、山本芳翠 他(挿画)『愛しき人』	1886	書籍
参考資料	● サミュエル・ピング(著)『芸術の日本』	1888-91	書籍
参考資料	● 『世界の首都』山本芳翠挿画	1892	書籍
参考資料	● ロベール・ド・モンテスキュー(著)、山本芳翠他(挿画)『蝙蝠』	1893	書籍
参考資料	● フェリックス・レガメ(著)『日本』	1903	書籍

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示
*印は寄託作品 □印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法
展示室1b ルドンと日本-日本におけるルドン受容			
オディロン・ルドン	『夢のなかで』Ⅰ. 孵化	1882	リトグラフ、紙
	『夢のなかで』Ⅱ. 発芽	1882	リトグラフ、紙
	『夢のなかで』Ⅷ. 幻視	1882	リトグラフ、紙
	『夢のなかで』Ⅸ. 悲しき上昇	1882	リトグラフ、紙
	『起源』Ⅱ. おそらく花の中に最初の視覚が試みられた	1883	リトグラフ、紙
	『起源』Ⅲ. 不恰好なボリーブは薄笑いを浮かべた醜い一つ目巨人のように岸辺を漂っていた	1883	リトグラフ、紙
	『ゴヤ頌』Ⅰ. 夢の中で私は空に神秘の顔を見た	1885	リトグラフ、紙
	『ゴヤ頌』Ⅱ. 沼の花、悲しげな人間の顔	1885	リトグラフ、紙
	『ゴヤ頌』Ⅵ. めざまめ時、私はきびしく無情な横顔の叡智の女神を見た	1885	リトグラフ、紙
	● 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
	○ 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
	眼をとじて	1890	リトグラフ、紙
	パルジファル	1892	リトグラフ、紙
	樹	1892	リトグラフ、紙
	光	1893	リトグラフ、紙
	ブリュンヒルデ(神々の黄昏)	1894	リトグラフ、紙
	『聖アントワヌの誘惑 第三集』Ⅳ. 私の接吻には、お前の心のなかでとろける果実の味わいがある!…私を馬鹿にするのだね!さようなら!	1896	リトグラフ、紙
	『聖アントワヌの誘惑 第三集』ⅩⅢ. 頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	リトグラフ、紙
	『聖アントワヌの誘惑 第三集』ⅩⅧ. アントワヌ:これらすべての目的は何だろう?悪魔:目的などはないのだ!	1896	リトグラフ、紙
	● ペアトリーチェ	1897	リトグラフ、紙
	● 子供の顔と花	1897	リトグラフ、紙
	カインとアベル	不詳	油彩、画布
	花の中の少女の横顔	1900-10頃	油彩、板
長谷川 潔	本の上の小鳥	1967	マニエール・ノワール、紙
木村 荘八	* パンの会	1928	油彩、画布
坪内 節太郎	砂の花	1971	油彩、画布
伊藤 清永	裸婦	1979頃	油彩、画布
石川 勇	狂人船	1960	油彩、画布
井上 忠明	眼と精神	1968	油彩、画布
坂倉 新平	無題	1979頃	油彩、画布
参考資料	○□ オディロン・ルドン《子供の顔と花》		

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示
*印は寄託作品 □印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法
展示室1c ルドンと日本—ルドンとわたし			
オディロン・ルドン	『エドガー・ポーに』 I. 眼は奇妙な気球のように無限に向かう	1882	リトグラフ、紙
	● 蜘蛛	1887	リトグラフ、紙
	『ギユスターヴ・フロベールに』(『聖アントワヌの誘惑』第二集) IV. 聖アントワヌ:どこかに始原的な形象があるはずだ。その身体は映像にすぎないのだ	1889	リトグラフ、紙
	○ 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出に)』 VI. 日の光眼をとじて	1891	リトグラフ、紙
	オフィーリア	1900以降 1901-02頃	油彩、画布 油彩、紙
山本 芳翠	浦島	1893-95頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	消えゆく仏陀—オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布
守 洞春	恩師	1955	木版、紙
水木 しげる	無題		墨、紙
島田 鮎子	この窓からの眺め	2010	油彩、画布
土屋 禮一	雲	1995	紙本着色
日比野 克彦	□ ケイショウ→エイゾウ	2016	ペン、色鉛筆、紙
傍島 幹司	赤と白の時間	2003	油彩、画布
参考資料	オディロン・ルドン(著) 『A soi-même:Journal, 1867-1915』	1922	書籍

春の名品展 日本画と工芸を中心に

●印は6月7日まで、○印は6月9日から展示
*印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	素材・技法
日本画			
竹内 栖鳳	●* 山村乃花	不祥	絹本着色
川合 玉堂	○ 藍川漁火図 ● 晩帰 ● 養老図 ● 藤 ○ 夏富士	1893 1899頃 1902 1929 1955頃	絹本着色 絹本着色 絹本着色 紙本着色 紙本着色
玉舎 春輝	○ 皐月頃	大正期	紙本着色
前田 青邨	● 烟雲古塔 ● 日子穂々手見命 ● 出を待つ ○ 鶺鴒 ● 茄子	1924 昭和初期 1955 1956頃 不詳	絹本墨画 紙本墨画淡彩 紙本着色 紙本水墨淡彩 紙本墨画淡彩
川崎 小虎	○ 沼三題 かいつむり 沼に遊ぶ	1940 1974	紙本着色 紙本着色
村上 華岳	●* 菩薩	1921	紙本墨画淡彩
中川 とも	花菖蒲	1972	紙、ポスターカラー
池田 虹影	●* 花石榴	1938頃	絹本着色
加藤 栄三	ばら 烟雨の中	1961 1970	紙本着色 紙本着色
村井 正誠	○ 岩と波 ○ 舞 ○ 無題	1970年代 1970年代 1970年代	紙本墨画 紙本墨画 紙本墨画
稗田 一穂	春野	1976	紙本着色
土屋 禮一	淵	2013	紙本着色
長谷川 喜久	視ル・聞ク・言ウ	2015	紙本着色

●印は6月7日まで、○印は6月9日から展示
*印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	素材・技法
工芸			
五代 加藤 幸兵衛	金欄手呉須草花絵水指	1975	金欄出手呉須、陶器
荒川 豊蔵	● 志野菊香合 ● 志野牡丹香合 ● 志野菊香合 ● 志野茶碗 銘早春 - 黄瀬戸花入 銘露塵 ● 志野茶碗 銘望洋	1973 1954頃 1954 1978-79 1976 1977	志野、陶器 志野、陶器 志野、陶器 志野、陶器 黄瀬戸、陶器 志野、陶器
岩田 藤七	○ 貝	1976	宙吹き、色ガラス
各務 鎮三	飾皿 銘祈り ○ 襷 ● 花器 銘春陽 ○ 笹文花器 ○ 水指 ○ 瓢型花器	1929 1971 1972 1972 1976 1983	宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール 宙吹き、クリスタルガラス、カット 宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール 宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール 宙吹き、クリスタルガラス、気泡封入 宙吹き、クリスタルガラス、カット
山田 喆	○ 珎皮蓋釉飾皿「花」 白化粧詩文壺	1963-65頃 1961頃	珎皮蓋釉、陶器 白化粧、陶器
小山 富士夫	斑唐津水指	1964頃	斑唐津、陶器
塚本 快示	* 白瓷鳥刻文大皿	1978	白磁、磁器
宗廣 力三	○ 初期郡上紬裂地	1955-70頃	紬、緋、絹
加藤 卓男	三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
鈴木 蔵	志野茶碗	2017	志野、陶器
加藤 孝造	● 瀬戸黒茶碗 ● 黄瀬戸茶碗	2017 2018	瀬戸、陶器 黄瀬戸、陶器
豊場 惺也	瀬戸黒茶碗	2003	瀬戸黒、陶器

彫刻展示

作家名	作品名	制作年	素材・技法
アルナルド・ボモドーロ	ディスコ	1982-83	ブロンズ
ジュリアーノ・ヴァンジ	海辺の男	1976	ブロンズ
澄川 喜一	そりのあるかたち	1979	櫨、樟、鉄

日本画の逆襲 ふたたび

作家名	作品名	制作年	素材・技法
土屋 禮一	紅映譜	2001	墨、岩絵具、膠、和紙
新恵 美佐子	海の揺籃	2009	墨、顔料、アクリル、キャンバス
加藤 良造	山水境	2014-15	墨、顔料、岩絵具、膠、和紙
長谷川 喜久	DOME —あらかじめ失われた鳥たちの宮殿— 刻 刻々	1996 2007	墨、岩絵具、銀箔、膠、和紙 墨、岩絵具、膠、和紙
坂本 一樹	宙—I AM	2013	岩絵具、膠、金箔、和紙
林 真	冬の蝶	2014	岩絵具、銀箔、膠、和紙
神戸 智行	未来へのかけ橋 ハナモヨウ 未来へのかけ橋 アカネモヨウ	2013 2013	岩絵具、水干絵具、金箔、膠、楮紙、典具帖紙 岩絵具、水干絵具、金箔、膠、楮紙、典具帖紙
岡村 智晴	木漏れ日 orbit	2017 2017	岩絵具、顔料、銀箔、アルミ箔、膠、和紙 顔料、銀箔、アルミ箔、錫箔、膠、和紙
服部 しほり	展墓記	2017	墨、胡粉、顔料、岩絵具、膠、和紙

ルドン、西洋美術コレクションから

○印は10月25日まで、●印は10月27日から展示
*印は寄託作品、□印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法
オディロン・ルドン	大きな樹	1865-70頃	木炭、紙
	●□ 風景		インク、紙
	○ 風景		油彩、画布
	○ ペイルルバードのボブラ		油彩、紙
	薔薇色の岩	1880頃	油彩、画布
	騎馬兵の戦い	1910頃	油彩、画布
	● カインとアベル		油彩、画布
	○ イエスとサマリアの女		油彩、画布
	○ 『夜』III. 堕天使はその時黒い翼を開いていた	1886	リトグラフ、紙
	● 『夜』II. 男は夜の風景の中で孤独だった	1886	リトグラフ、紙
藤島 武二	●□ ローマの古城趾	1908-09頃	油彩、画布
ジョルジュ・ルオー	○ 『ミセレーレ』XXVI. 渇きと恐れのは国では	1923	エリオグラヴัวร์、シュガー・アクアティント等、紙
	● 『ミセレーレ』XXIII. 孤独者通り	1922	エリオグラヴัวร์、シュガー・アクアティント等、紙
	○ 『ミセレーレ』XXVIII. われを信ずる者は、死すとも生さん	1922	エリオグラヴัวร์、シュガー・アクアティント等、紙
	● 『ミセレーレ』XXXI. 汝ら、互いに愛し合うべし	1922	エリオグラヴัวร์、シュガー・アクアティント等、紙
モーリス・ド・ヴラマンク	ブレゾル(嵐の風景/冬の街)	1937	油彩、画布
パブロ・ピカソ	○ ランプの下の静物	1962	リノカット、紙
	● ランプの下の静物	1962	リノカット、紙
ジョルジュ・ブラック	緑の円卓	1943頃	油彩、画布
マリー・ローランサン	三人の踊り子たち	1937-38	油彩、画布
ジュール・パスキン	マリエッタの肖像	1928-29	油彩、画布
藤田 嗣治(レオナルド・フジタ)	* 十字架の見える風景	1920頃	油彩、画布
	猫	1949	油彩、画布
	* 厨房	1950	油彩、ハードボード
	* 小さな主婦	1956	油彩、画布
カイル・スーチン	吊るされた七面鳥	1925	油彩、画布
ジョアン・ミロ	人と月	1950	油彩、画布
荻須 高德	サン・ジェルマン・ロクセロワ、パリ	1949	油彩、画布

寄贈記念 熊谷守一展

○印は10月25日まで、●印は10月27日から展示
□印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	素材・技法
展示室1cd			
熊谷 守一	スケッチ帳「一号」から	1901	水彩、紙
	スケッチ帳「三号」から	1902	水彩、紙
	スケッチ帳「三号」から	1902	水彩、紙
	● スケッチ帳「三号」から	1902	水彩、鉛筆、紙
	● スケッチ帳「四号」から	1903	水彩、鉛筆、紙
	● スケッチ帳「四号」から	1903	水彩、紙
	○ 腰かけた女	1903	油彩、画布
	婦人半身像	1905	油彩、画布
	轢死	1908	油彩、画布
	蠟燭	1909	油彩、画布
	○ 母の像	1910頃	油彩、画布
	赤城の雪	1916	油彩、画布
	赤坊	1926頃	油彩、板
	松林	1928	油彩、画布
	牛	1930	油彩、板
	鳥	1930	油彩、板
	鳥	1930頃	油彩、板
	セキセイインコ	不詳	油彩、板
	赤うそ	不詳	油彩、板
	金太郎	1930	油彩、板
	裸婦	1930頃	油彩、画布
	裸婦	1930頃	油彩、板
	横の裸	1930	油彩、板
	裸婦	1933	油彩、板
	裸婦(炬辺の女)	1933	油彩、板
	●□ 伊豆大島	1935	油彩、板
	夜の裸	1936	油彩、板
	富士	1936	油彩、板
	○ 長良川	1936	油彩、板
	裸婦	1938	油彩、板
	桑畑	1939	油彩、板
	溪流	1939	油彩、板
	萬の像	1950	油彩、板
	ヤキバノカエリ	1956	油彩、画布
展示室1d			
熊谷 守一	磯	不詳	油彩、板
	○ 裸婦	不詳	油彩、キャンヴァスボード
	不動明王	1944	紙本墨画淡彩
	ねこ	不詳	紙本墨画淡彩
	裸	不詳	紙本墨
	とうもろこし	不詳	紙本墨画淡彩
	ねずみ	不詳	紙本墨
	蝦蟇	不詳	紙本墨画淡彩
	枯木に鶺鴒	不詳	紙本墨画淡彩
	観世音	不詳	紙本墨画淡彩
	● 鴨路草	不詳	紙本墨画淡彩
	● ししがしら	不詳	紙本墨画淡彩
	がま	1946-47頃	紙本墨画淡彩
	菩薩	1946-47頃	紙本墨画淡彩
	富嶽秋景	1946-47頃	紙本墨画淡彩
	バラ	不詳	油彩、板
	野菜	1949	油彩、板
	後向裸婦	1950	油彩、板
	水辺	1950-60	油彩、板
	○ 白い裸婦	1952	油彩、板
	御嶽	1954	油彩、板
	海	1958	油彩、キャンヴァスボード
	富士山	1958	紙本墨画淡彩
	馬	1958	紙本墨画淡彩
	仏画下絵	1959	油彩、板
	□ 自画像	1959	クレパス、紙
	馬	1957	油彩、板
	足を組む裸婦	1960-70	油彩、板
	百日草	1961	油彩、板
	松並木	1956	油彩、板
	○ 朝のはぢまり	1969	油彩、板
	● 夕映	1970	油彩、板
	壺	1971	油彩、板

工芸・新収蔵品を中心に

作家名	作品名	制作年	素材・技法
工芸			
山田 光	黒陶 交互に開く窓	1981	黒陶、鉄
	黒陶 窓	1981	黒陶、鉄
	点の集合	1979-80	白磁、木
	点の集合	1980	黒陶、木
鈴木 蔵	志野茶碗	2017	志野、陶器
伊藤 慶二	HIROSHIMA一証	1975年代	陶
加藤 孝造	瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸黒、陶器
鯉江 良二	マスク	1960年代末	陶
	電車の皿	1982頃	陶
	一寸手出口出	2014-16	ガラス
安藤 日出武	志野茶碗	2018	志野、陶器
	黄瀬戸大皿	2020	黄瀬戸、陶器
東 正之	青釉壺	2014	青釉、陶器
酒井 博司	藍志野壺	2012	藍志野、陶器
鈴木 徹	緑釉花器	2012	緑釉、陶器
	森羅	2014	緑釉、陶
若尾 経	象牙瓷合子	2014	象牙瓷、陶器

ぎふの日本画 いのちのリレー ～土屋 禮一を中心に～

*印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	素材・技法
加藤 栄三	空	1958	紙本着色
土屋 輝雄	素描 朝	1957	紙本着色
加藤 東一	ある行進	1974	紙本着色
土屋 禮一	ブローチを付けた自画像	1972	紙本着色
	暮れて行く	1976	紙本着色
	道	1979	紙本着色
	雲	1995	紙本着色
	* 妙義	1998	紙本着色
	白雲譜	2001	紙本着色
	石門	2003	紙本着色
	* 椿樹	2005	紙本着色
	桜樹	2008	紙本着色
	水の風景	2010	紙本着色
	雲龍	2011	紙本着色
長谷川 喜久	白映に赤	2018	紙本着色
林 真	業	2013	紙本着色

篠田桃紅と抽象の世界

作家名	作品名	制作年	素材・技法
ビエール・スーラージュ	リトグラフ31	1974	リトグラフ、紙
篠田 桃紅	火	1981	墨、銀泥、銀地
	遠つ代	1964頃	墨、銀泥、画布
	日かげ日なたA	1982	墨、銀泥、銀地
	祭り(後)	1986	墨、朱、銀地
	惜墨3	1991	墨、和紙
	惜墨2	1991	墨、和紙
	惜墨4	1991	墨、和紙
	INISHIE (いにしえ)	1986	リトグラフ、紙
	QUIETUDE (静寂)	1990	リトグラフ、紙
	人よ (II)	1988	墨、朱、銀地
	昇華	1993	墨、銀泥、緑青、麻紙に金箔、絹
	相	1994	墨、朱、銀地、紙
	PHASE (相)	1990	リトグラフ、紙
	To the future (明日へ)	1986	リトグラフ、紙

特集・宮島達男

○印は2月28日まで展示

作家名	作品名	制作年	素材・技法
展示室1c			
宮島 達男	○ INTERSECT	1990	L.E.D.、I.C.、電線 (42ユニット)
展示室2b			
宮島 達男	Life Face vol. 2	1991	版画(シルクスクリーン、型押し)、8点

常設展示

作家名	作品名	制作年	素材・技法
美術館ホール、ロビー			
ジャコモ・マンズー	大きな枢機卿	1982	ブロンズ
ヴァレリアーノ・トルッピアーニ	錨を上げる	1975	ブロンズ、アルミニウム、鉄
庭園(正面)			
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	勝利のヴィーナス	1914	ブロンズ
アリスティド・マイヨール	地中海	1902-05	ブロンズ
高橋 清	第3の太陽	1982	白御影石
李 禹煥	関係項	1986	鉄、自然石
	関係項	1987	鉄、自然石
大成 浩	風の影 No.1	1982	白御影石
榎倉 康二	壁	1971 (再制作1995)	コンクリート
小清水 漸	アララの舟	1992	銅、鉄、水、白大理石
杉浦 康益	陶による石の群	1985	陶
天野 裕夫	パオバブ・ライオン	2002	陶、ブロンズ
林 武史	立つ人一月見台	2010	安山岩
鯉江 良二	森ヲ歩ク	1995	アルミニウム、基盤、電球等
美術館ホール東側テラス			
郭 仁植	作品 86-ST	1986	米松、墨
庭園(北)			
田中 薫	七つの積み木	1982	ステンレス・スチール、鉄、モーター、タイマー

1-2 企画展

アートまるケット アーティストがワタシントコにやって来た! 岐阜県の滞在制作レビュー

2020/3/3[火]-6/14[日]

→2020/3/3[火]-7/5[日]に変更

アートまるケット第5回は、岐阜県内で行われているアーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)事業および施設を調査し紹介した。「美濃・紙の芸術村」で滞在したポーランドの作家の和紙を使った作品も展示した。

新型コロナウイルス対策によるイベントの中止をうけ、森下真樹のソロのダンス作品《運命》を美術館で撮影し、期間限定配信を行って、5000回程度の視聴があった。

概要

会場:岐阜県美術館 展示室2b, 2c
観覧料:一般 340円(280円)、大学生 220円(160円)、高校生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※観覧券は展示室1で同時開催中の所蔵品展と共通料金
協力いただいた滞在制作事業者あるいは事業名:東座AIR、可児市文化創造センター[ala]、GIDS[Gifu Indie Design Sessions]、情報科学芸術大学院[IAMAS]、飛騨の森でクマは踊る[Hidakuma]、美濃・紙の芸術村[現・Mino Art Info]、美濃加茂市民ミュージアム
観覧者数:1,803人

作品リストは23ページ

関連企画

森下真樹+岐阜県美術館「ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』を贈る」

配信期間3月20日14:00~6月14日

森下真樹+岐阜県美術館「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を贈る」(ダイジェスト版)

展示室上映4月10日~6月14日



明治の金メダリスト 大橋翠石 ～虎を極めた孤高の画家～

2020/7/18[土]-8/30[日]

→2020/7/23[木・祝]-9/13[日]に変更

1期:7月23日(木・祝)~8月10日(月・祝)

2期:8月12日(水)~8月30日(日)

3期:9月1日(火)~13日(日)

大橋翠石は現在の大垣市に生まれ、1900年のパリ万国博覧会で日本人画家としてただ一人、金メダル(金牌)に輝いた画家。本展は、国内外の博覧会で受賞を重ねた明治の金メダリスト・大橋翠石の回顧展としてその全貌を紹介した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、企画展の講演をYouTubeで初めて配信した他、ナンヤローネSHOPにて、大垣の菓子店との連携企画も行った。

概要

会場:岐阜県美術館 展示室1d, 2b, 3
出品点数:158点(会期中展示替あり)
観覧料:一般 800(700)円、大学生 600(500)円
※()内は20名以上の団体料金、高校生以下無料
主催:岐阜県美術館
共催:中日新聞社
企画協力:神戸新聞社
助成:公益財団法人田口福寿会
監修:村田 隆志(大阪国際大学准教授)

作品リストは24ページ

関連企画

ナンヤローネ アートツアー(8月2日)

美術講座「描かれた虎 古代から近代まで」(8月8日)

関連イベント「動物たちの贈りもの」(8月10日)

夜間開館見どころトーク(8月21日)

監修者による記念講演会 ※YouTube配信

第1回「大橋翠石の前半生」(9月6日公開)

第2回「大橋翠石の後半生」(9月6日公開)

第3回「大橋翠石の家族愛」(9月11日公開)

第4回「大橋翠石の超絶技巧」(9月11日公開)

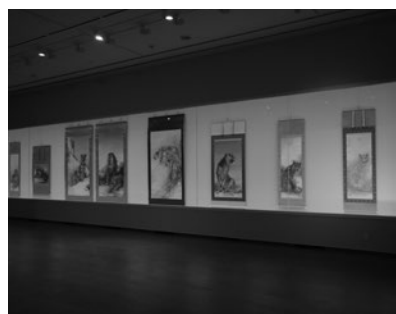
美術講座 ※YouTube配信(9月13日公開)

前編「大橋翠石と明治の博覧会」

後編「パリ万博後の東京時代 ~翠石を支えた人~」

特別企画「SNSに虎写真をアップ!絵はがきプレゼント」

ナンヤローネSHOP特別企画「お菓子博覧会」



岸田劉生展 ―写実から、写意へ―

2020/11/14[土]-2021/1/17[日]

ジャーナリストであり実業家として知られる岸田吟香の四男として生まれた岸田劉生の全画業を紹介する展覧会。画家を志し西洋の画家から影響を受けながら、「写実」によって描く対象の本質を捉えることについて考えを深めていった油彩画から、文芸美術誌『白樺』やこの雑誌を通して出会った仲間たちの著作のために手掛けた装丁画の数々、さらに宋元画や浮世絵などを集中的に研究し取り組んだ日本画まで、38年という短い人生において、濃厚かつ多彩な作風を展開した画業を、公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館のコレクションを中心に紹介した。また本展覧会では、当館が所蔵する岸田劉生の代表作《自画像》のほか、新たに収蔵した《滞船》《歳寒三友》《薔薇図》を披露する機会とした。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下での開催となったため、通常のチラシ配布はやめ、新聞紙面による広報に切り替えた。

概要

会場:岐阜県美術館 展示室3

出品点数:177点

観覧料:一般 800円(700円)、大学生 600円(500円)、高校生以下無料、()内は20名以上の団体料金

主催:岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送

後援:NHK 岐阜放送局

協力:公益財団法人ひろしま美術館、田辺市立美術館

特別協力:公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館

作品リストは30ページ

関連企画

記念講演会「岸田劉生の日本画制作について」(11月28日)

美術講座「岸田劉生の絵肌」(12月13日)

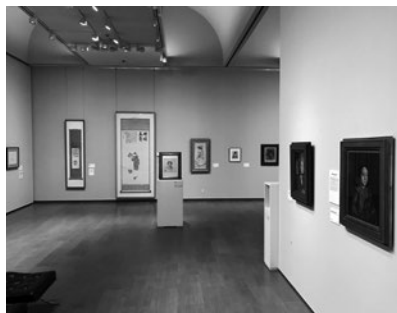
美術講座「岸田劉生と近代美術『ETERNAL IDOL—その始まりから今へ』」(1月17日)

鑑賞会「内なる美(其の1)・洋画篇」(11月20日)

ナンヤローネ アートツアー(12月6日)

鑑賞会「内なる美(其の2)・東洋画趣篇」(12月18日)

鑑賞会「内なる美(其の3)・装丁画篇」(1月15日)



三菱一号館美術館共同企画

1894 Visions ロートレックとその時代

2021/1/30[土]-3/14[日]

大胆な色づかいとダイナミックな構図で、時代の先端を行くパスターを発表し注目を集めたアンリ・ド・トゥールーズ=ロートレックの作品を中心に、オディロン・ルドン、フランスで学んだ山本芳翠等、19世紀後半から20世紀初頭の日本とフランスにおける美術の動向をたどる。日本が近代国家へと発展を遂げ、三菱一号館が建設された1894(明治27)年という時代を展覧会の基軸とし、両館収蔵品による共同企画展とした。時代を象徴する芸術が世界を行き交った19世紀末、東京とパリを舞台に日仏の画家たちが夢みたVisions=“かぐわしき未来”としての理想像をビジュアルな会場構成で捉え直す機会とした。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下での開催となり、新聞紙面を用いた自宅でも楽しむことができる「新しい生活 新しい美術鑑賞」と題した広告を展開。第49回岐阜広告協会審査員特別賞を受賞した。

概要

会場:岐阜県美術館 展示室3

出品点数:215点

観覧料:一般 1,000円(900円)、大学生 700円(600円)、高校生以下無料、()内は20名以上の団体料金

主催:岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送

後援:NHK 岐阜放送局

協力:岐阜県社会保険協会

企画協力:三菱一号館美術館

作品リストは33ページ

関連企画

美術講座「両洋の宴 山本芳翠とその時代」(2月14日)

鑑賞会1(2月19日)

美術講座「ルドン、ロートレックの時代」(2月28日)

ナンヤローネ アートツアー(3月7日)

鑑賞会2(3月14日)



アートまるケット おうちに居ながら美術館 拡張現実で収蔵作品鑑賞

2020/12/24 配信開始

企画紹介展示: 2021/1/19〔火〕-3/28〔日〕

展示室を飛び出して岐阜をアートでいっぱいにしたいという思いから始まったシリーズ企画「アートまるケット」。コロナ禍となった本年度は、岐阜県美術館が所蔵する作品を、アーティスト鈴木一太郎が3DCG化し、AR（拡張現実）技術によって、利用者の手元へ届ける企画。スマートフォンやタブレット端末を使って、岐阜県美術館の所蔵作品を好きなところに飾っていただき、おうちに居ながら美術鑑賞を楽しむことができるようにした。

配信開始後、展示室を使って使用方法のデモンストレーションをする展示を行った。

✂ 概要

会場: 岐阜県美術館 展示室2c

出品点数: 1点

観覧料: 無料

観覧者: 7,148人

作品リストは23ページ

✂ 関連企画

アートまるケット おうちに居ながら美術館 ナンヤローネ アートツアー (2021年2月21日)

#おうちに居ながら美術館 (2021年3月23日～)



アートまるケット アーティストがワタシントコにやって来た! 岐阜県の滞在制作レビュー

作家名	作品名	制作年	素材・技法
マルタ・ボジック	Shadows 1	2019	紙、発泡スチロール、ケーブル、LEDライト
	Shadows 2	2019	紙、発泡スチロール、ケーブル、LEDライト
	Shadows 3	2019	紙、発泡スチロール、ケーブル、LEDライト
	Shadows 4	2019	紙、発泡スチロール、ケーブル、LEDライト
	Shadows 5	2019	紙、発泡スチロール、ケーブル、LEDライト
	Waterfalls 1	2019	和紙、木版画
	Waterfalls 2	2019	和紙、木版画
	Waterfalls 3	2019	和紙、木版画
	無題	2019	和紙、木版画
	無題	2019	和紙、木版画(3点)
マウゴジャータ・マルヴィーナ・ニェスポジェヴァーナ	TSUKIMI (V)	2019	紙にアクリルでペイント
	STERS	2019	和紙
	SKY	2019	ハンドメイドペーパー
	NAGARA BOOK	2019	和紙
	GARDEN	2019	紙、和紙(9点組)
エヴァ・ロシェック・ブシュコ	TRACES OF PRESENCE 4	2019	ハンドメイドペーパー
	TRACES OF PRESENCE 5	2019	ハンドメイドペーパー
	TRACES OF PRESENCE 6	2019	ハンドメイドペーパー
	TRACES OF PRESENCE 7	2019	ハンドメイドペーパー
	OBI BELT 10HORIZONTAL-RED	2019	和紙(機械紙)
	OBI BELT 11VERDIKAL	2019	和紙(機械紙)
	OBI BELT 12VERDIKAL	2019	和紙(機械紙)
森下真樹+岐阜県美術館	「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を贈る」	2020	カラー、ステレオ、53分47秒、動画配信 (前年度より継続-6月14日)
	「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を贈る」(チョイ見せ版)	2020	カラー、ステレオ、1分、動画配信 (4月10日-6月14日)
	「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を贈る」(ダイジェスト版)	2020	カラー、ステレオ、5分、館内ループ再生 (5月19日-6月14日)

アートまるケット おうちに居ながら美術館 拡張現実で収蔵作品鑑賞

作家名	作品名	制作年	素材・技法
日比野克彦	SHOE	1983	ダンボール、ボール紙、他

明治の金メダリスト 大橋翠石 ～虎を極めた孤高の画家～

1期:7月23日(木・祝) - 8月10日(月・祝) 2期:8月12日(水) - 8月30日(日) 3期:9月1日(火) - 9月13日(日)

第1章 学画と模索 ー大垣時代前期

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
鳳凰山舞台障子絵 群鶏之図	1890	絹本着色	垂井曳山東町鳳凰山	○	○	○
双狸之図		絹本着色	個人	○		
竹二雀之図		紙本墨画淡彩	大垣市教育委員会	○	○	
錦魚之図		紙本墨画淡彩	光彩文庫			○
狗児之図		紙本墨画淡彩	光彩文庫			○
茗茶睡猫之図		紙本墨画淡彩	光彩文庫		○	
孤猿之図		紙本着色	甲南大学文学部		○	
白梅双鼠之図		紙本墨画淡彩	甲南大学文学部			○
猛虎之図		紙本着色	大垣市教育委員会	○		
猛虎之図		絹本着色	個人			○
猛虎之図		絹本着色	個人			○
秋草遊猫之図		絹本着色	光彩文庫	○		
茶室飾之図		絹本着色	個人			○
猛虎之図	1896	絹本着色	個人	○	○	
猛虎強襲之図	1896	紙本墨画淡彩	大垣共立銀行	○	○	
月下吼虎之図	1897	絹本着色	個人	○	○	
十二支図扇面貼交屏風	1897	絹本着色	個人	○	○	
虎図屏風		絹本着色	岡田美術館		○	
猛虎横臥之図		絹本着色	個人			○

第2章 独自の虎画の画風確立 ―大垣時代後期

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
白衣観音像	1900	絹本墨画淡彩	長良川画廊	○	○	
猛虎之図	1901頃	絹本着色	個人	○		
猛虎之図	1901	絹本着色	十朱幸代氏	○	○	
明治天皇献上作大下図	1902	紙本着色	個人	○	○	○
皇后陛下御用品原図	1902	紙本墨画淡彩	個人	○	○	
家鴨之図	1903	絹本着色	光彩文庫	○		
双虎之図		絹本着色	個人	○	○	
猛虎		絹本着色	くにえだ美術	○		
月下猛虎之図	1906	絹本着色	宮内庁三の丸尚蔵館		○	
雪中虎之図	1908	絹本着色	個人			○
悲憤	1908	絹本着色	個人	○	○	○
春香図屏風		紙本金地着色	個人	○	○	
猛虎図屏風		紙本金地着色	個人	○		
双獅子之図		絹本着色	個人	○	○	○
猛虎之図		絹本着色	鉄斎堂	○		
猛虎護児之図		絹本着色	加島美術			○
書簡雑画貼交屏風		紙本墨画等	岐阜市歴史博物館		○	
猛虎図屏風		絹本金地着色	個人			○

第3章 闘病と画風昂揚 ―神戸時代前期

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
御題松上鶴	1912	絹本着色	長良川画廊	○		
鸚鵡之図	1912	紙本着色	光彩文庫		○	○
春暖	1913	絹本着色	個人	○		
猛虎之図	1914	絹本着色	個人	○		
夏日之虎図	1914	絹本着色	個人	○	○	○
鍾馗之図		紙本墨画淡彩	個人	○	○	○
秋晴之図		絹本着色	大垣市教育委員会		○	○
狗児之図		紙本墨画淡彩	光彩文庫	○	○	
鹿図		紙本墨画淡彩	個人	○	○	○
獅子虎		絹本着色	名都美術館	○		
巖上雪中猛虎図屏風		絹本金地着色	大垣市教育委員会		○	
林中猛虎之図		絹本着色	個人		○	○
双虎之図		絹本着色	個人		○	
獅子睡眠之図		絹本着色	大垣市教育委員会	○		
猛虎之図	1916	絹本着色	鉄斎堂		○	
暴風猛虎之図		絹本着色	個人			○
母子虎之図		絹本着色	個人			○
魚虎之図 永坂石埭賛	1918	紙本墨画	個人	○		
龍虎之図	1918頃	紙本墨画淡彩	個人		○	○
菅原軻前水引 雲竜之図	1922	絹本墨画淡彩	大垣市新町菅原軻保存会	○	○	○
菅原軻右水引 群虎之図	1923	絹本着色	大垣市新町菅原軻保存会	○	○	○
菅原軻左水引 群虎之図	1923	絹本着色	大垣市新町菅原軻保存会	○	○	○
左手描哮虎之図	1923	紙本墨画	個人	○		
左手描墨虎之図	1923	紙本墨画	個人		○	○
菅原軻見送り 岩上猛虎之図	1924	絹本着色	大垣市新町菅原軻保存会	○	○	○
雲上観音之図	1924	絹本金地着色	個人		○	○
霜柯竹石之図	1924	紙本墨画淡彩	個人	○		
緑陰余滴帖	1925	絹本着色	くにえだ美術	○	○	○
氷原白熊之図	1925	絹本着色	個人	○	○	
林間双馬之図		絹本着色	個人	○	○	○
高原異鳥之図		絹本着色	個人		○	○
白衣観音之図		絹本着色	個人	○		
雪中猛虎図屏風		絹本金地着色	生田神社	○	○	

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
虎図		絹本金地着色	岐阜県美術館			○
寒山猛虎之図		絹本着色	個人	○		
猛虎躍進之図		絹本着色	個人		○	
洞中猛虎之図		絹本着色	個人		○	○
蹲地待機之図	1926頃	絹本着色	個人	○		
猛虎之図		絹本着色	個人	○		
母虎愛児之図		絹本着色	個人		○	○
月下之虎図		絹本着色	個人	○		
双虎之図		絹本着色	個人			○
猛虎之図		絹本着色	個人			○
猛虎之図		絹本着色	個人			○
砲擲必勝図		絹本着色	小野静観堂	○		
樹上猛豹之図		絹本着色	個人		○	
蓮花之図		絹本着色	個人	○	○	○
寒林兎之図		絹本着色	光彩文庫	○		
寿老人之図	1930	絹本着色	個人		○	○
福禄寿図	1927	絹本着色	個人	○	○	
猪之図		絹本着色	個人	○		
猛虎之図		絹本着色	個人		○	○
谿上楼閣山水図		絹本着色	個人	○	○	○
白虎之図	1927頃	絹本着色	個人	○	○	○
猛虎之図	1927頃	絹本着色	光彩文庫	○	○	
孔雀之図	1927頃	絹本着色	個人		○	○
鳳凰之図	1928	紙本着色	個人	○		
乳虎之図	1928	紙本着色	個人	○		
猛虎愛児之図		絹本着色	個人		○	
神勇無敵図		絹本着色	個人	○		
朝陽鳴鳳之図		絹本着色	個人		○	○

第4章 小仙洞での日々と画風円熟 ―神戸時代後期

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
雲上観音図色紙		紺絹金泥	個人	○	○	○
延命十句観音経・白衣観音之図色紙貼交	1928	紙本墨書・紙本墨画淡彩	光彩文庫	○	○	○
観世音菩薩尊像		絹本着色	個人		○	○
延命長寿色紙		紙本墨書	個人	○	○	○
極密山水小帖		紙本墨画淡彩	個人	○	○	○
金鱗群遊之図	1930	紙本着色	個人			○
大猛虎之図	1932	絹本着色	個人	○	○	○
表猛虎・裏白鶴之図屏風	1932	絹本金地着色	個人	○	○	○
堂中吉寿之図 鏡台覆	1932	紙本着色	個人	○	○	○
寿 一大字		紙本朱書	光彩文庫	○	○	○
墨獅子図		紙本墨画	岡林写真館	○	○	○
観世音菩薩尊像	1931	紙本墨画淡彩	岡林写真館	○	○	○
一行書 一陽来復 福自天来	1933	紙本墨書	個人	○	○	○
雲煙過眼帖・動集	1933	絹本着色	鉄斎堂	○	○	
緑陰余影帖・十二動物図		絹本着色	大谷紅葉氏	○	○	○
端午即景之図		紙本墨画淡彩	個人	○	○	○
潜蛟昇天之図		紙本墨画淡彩	個人	○	○	○
虎図		絹本着色	個人	○		
猛虎之図		絹本着色	個人	○	○	○
谿流登鮎之図		絹本着色	個人	○	○	○
鳳凰之図		絹本着色	個人	○		
瑞鳥雌雄之図		絹本着色	個人	○		
極楽鳥之図		絹本着色	個人	○	○	○
怪石図巻 法華経賛		紙本墨画	個人	○	○	○
隻鼠之図		絹本着色	個人	○	○	
鸚哥之図		絹本着色	新古美術わたなべ	○	○	○
岩上臥虎之図		絹本着色	個人	○	○	○
清流群蛭之図		絹本着色	長良川画廊	○	○	○
水上飛禽図色紙		絹本着色	個人	○	○	○
双虎之図		絹本着色	新古美術わたなべ			○
猛虎之図		絹本着色	個人	○		
虎図		紙本金地着色	岐阜県美術館	○		
猛虎之図		絹本着色	くにえだ美術			○

作品名	制作年	素材・技法	所蔵先	1期	2期	3期
乳虎渡谿図		絹本着色	福田美術館			○
狸之図		絹本着色	個人	○		
カンガルー之図		紙本墨画	光彩文庫		○	○
仔猫之図		絹本着色	長良川画廊	○	○	○
遊猫之図		絹本着色	個人	○	○	○
仔猫図		絹本着色	個人	○	○	○
大橋翠石印譜		紙本朱印	個人	○	○	○
千虎肌襦袢		絹布墨書	個人	○	○	○
双鯉之図		絹本墨画淡彩	個人	○	○	
猛虎図		絹本墨画淡彩	個人			○
猛虎之図		絹本着色	個人		○	
双虎之図		絹本着色	個人			○
仔猫之図		絹本着色	くにえだ美術	○	○	○
仔猫之図		絹本着色	個人	○	○	○
仔猫之図		絹本着色	福田美術館	○	○	○
花陰遊猫之図		絹本着色	個人	○	○	○
狛・金魚之図		絹本着色	長良川画廊	○	○	
雪中猛虎之図		絹本着色	個人	○	○	○
猛虎護児之図		絹本着色	小林美術館		○	
猛虎之図		絹本着色	個人	○		
荒鷲之図		絹本着色	個人	○		
猛虎臨谿流図		絹本着色	個人	○		
鮒之図		絹本着色	個人	○	○	
乳虎攀崖之図	1944頃	絹本着色	個人		○	
大虎図	1944	絹本着色	大垣市立東小学校	○	○	○
虎児之図		絹本着色	福田美術館	○	○	○
大吉之図色紙	1945頃	紙本着色	個人	○	○	○
写真額 (大橋翠石 写真)			個人	○	○	○

岸田劉生展

—写実から、写意へ—

作家名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	素材・技法	所蔵先
Ⅰ 西洋の受容					
岸田 劉生	滞船	1909	明治42年	油彩、板	岐阜県美術館
	築地風景	1911	明治44年	油彩、画布	笠間日動美術館
	築地居留地	1913	大正2年	油彩、板	笠間日動美術館
	代々木附近	1913	大正2年	油彩、画布	笠間日動美術館
	上水の春日	1915	大正4年	油彩、画布	ひろしま美術館蔵
	京都スケッチ	1919	大正8年	油彩、板	笠間日動美術館
	夏の路(鶴沼海岸)	1922	大正11年	油彩、画布	笠間日動美術館
	築地風景	1912	明治45年	木版、紙	笠間日動美術館
	代々木風景	1916	大正5年	水彩、紙	笠間日動美術館
	片瀬川	1916	大正5年	水彩・ペン、紙	笠間日動美術館
	二階よりのスケッチ	1917	大正6年	水彩、紙	笠間日動美術館
	りんご	1918	大正7年	ペン、紙	笠間日動美術館
	静物(林檎と葡萄)	1919	大正8年	油彩、板	笠間日動美術館
	静物	1919	大正8年	紙本彩色	笠間日動美術館
	薔薇図	1929	昭和4年	油彩、板	岐阜県美術館
	裸体習作	1913	大正2年	油彩、画布	笠間日動美術館
	「天地創造」より裸婦群像	1914頃	大正3年頃	油彩、画布	笠間日動美術館
	「天地創造」より裸婦一人	1914頃	大正3年頃	油彩、画布	笠間日動美術館
	「天地創造」より1.欲望	1914	大正3年	エッチング、紙	笠間日動美術館
	「天地創造」より2.怒れるアダム	1914	大正3年	エッチング、紙	笠間日動美術館
	「天地創造」より3.石を噛む人	1914	大正3年	エッチング、紙	笠間日動美術館
	第2回フェウザン会展会場装飾画	1913	大正2年	油彩、紙	笠間日動美術館
	第1回草土社展会場装飾画	1915	大正4年	油彩、紙	笠間日動美術館
	The Earth	1915	大正4年	木版、紙	笠間日動美術館
	月下遊戯(一)	1914	大正3年	墨、紙	笠間日動美術館
	丘の婦人	1914頃	大正3年頃	水彩、紙	笠間日動美術館
	ETERNAL IDOL	制作年不詳	—	水彩、紙	笠間日動美術館
	夏の夜	1927	昭和2年	ペン、紙	笠間日動美術館
	THE Mid day	1913	大正2年	紙本彩色	笠間日動美術館
	新富座寺子屋図	1922	大正11年	油彩、板	笠間日動美術館
	自画像	1913	大正2年	油彩、画布	笠間日動美術館
	自画像	1914	大正3年	油彩、画布	岐阜県美術館
	友の肖像	1913	大正2年	油彩、板	笠間日動美術館
	男の肖像(No.34「友の肖像」裏面)	1913	大正2年	油彩、板	笠間日動美術館
	男の像	1914	大正3年	鉛筆、紙	笠間日動美術館
	画家の家族(No.36「男の像」裏面)	1914	大正3年	鉛筆・ペン、紙	笠間日動美術館
	古屋君の肖像	1916	大正5年	水彩、紙	笠間日動美術館
	木村荘八之像	1917	大正6年	コンテ、紙	笠間日動美術館
	丸山君の像	1921	大正10年	油彩、画布	笠間日動美術館
	村童図	1921	大正10年	木炭、紙	笠間日動美術館
	支那服を着た妹照子像	1921	大正10年	油彩、画布	ひろしま美術館
	村娘	1917	大正6年	鉛筆・水彩、紙	笠間日動美術館
	村娘之図	1919	大正8年	木炭・パステル・水彩、紙	笠間日動美術館
	村娘	1928	昭和3年	木版・水彩、紙	笠間日動美術館
	村娘図	1921	大正10年	紙本彩色	笠間日動美術館
	村嬢図(うちわ絵)	1922	大正11年	墨・水彩、紙	笠間日動美術館
	村嬢愛果	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	村嬢奉壽	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	村嬢観魚	1925	大正14年	紙本彩色	笠間日動美術館
	麗子之像	1918	大正7年	木炭・コンテ、紙	笠間日動美術館
	麗子十六歳之像	1929	昭和4年	油彩、画布	笠間日動美術館
	麗子像	1928	昭和3年	リトグラフ・墨、紙	笠間日動美術館
	菊慈童麗子	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『友情』特装本表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『友情』特装本見返し	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『劉生図案画集』表紙	1921	大正10年	木版、紙	笠間日動美術館
	『劉生図案画集』奥付	1921	大正10年	木版、紙	笠間日動美術館
	寒山風麗子像	1922-23	大正11-12年	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	麗子曼荼羅	1921	大正10年	紙本彩色	笠間日動美術館
	丹畫麗子像	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	『帝國文學』十月号表紙	1916	大正5年	水彩、紙	笠間日動美術館
	『カチカチ山』(武者小路実篤作岸田劉生画)	1917	大正6年	水彩・墨、紙	笠間日動美術館
	「かちかち山」	1917	大正6年	水彩、紙	笠間日動美術館
	『愛の本』	1918	大正7年	墨、紙	笠間日動美術館
	『草土社第六回美術展覧会目録』表紙	1918	大正7年	木版、紙	笠間日動美術館
	長与善郎『生活の花』表紙	1918	大正7年	木版、紙	笠間日動美術館
	長与善郎『生活の花』見返し	1918	大正7年	木版、紙	笠間日動美術館
	千家元麿詩集『自分は見た』表紙	1918	大正7年	木版、紙	笠間日動美術館

作家名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	素材・技法	所蔵先
I 西洋の受容					
岸田 劉生	千家元麿詩集『虹』表紙	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	千家元麿詩集『虹』見返し	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	千家元麿詩集『虹』扉	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺』十周年記念号表紙	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺』第十年十一月号表紙	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺』第十一年六月号表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺』第十一年十二月号表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺同人脚本集』表紙	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺十周年記念集』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『白樺十周年記念集』見返し	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『劉生画集及芸術観』見返し	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『劉生画集及芸術観』扉	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『幸福者』表紙	1919	大正8年	木版、紙	笠間日動美術館
	『あだむ』	1920	大正9年	水彩、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『人間的生活』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『一本の枝』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『友情』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『友情』特装本扉	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『雑三百六十五』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『童話劇三篇』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	長与善郎『或る人々』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	長与善郎『或る人々』見返し	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	長与善郎『或る人々』扉	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	千家元麿『青い枝』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	千家元麿『青い枝』扉	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	『水野仙子集』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	詩同人詩集『麦』表紙	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	詩同人詩集『麦』扉	1920	大正9年	木版、紙	笠間日動美術館
	武者小路実篤『埋もれてゐたもの』表紙	1921	大正10年	木版、紙	笠間日動美術館
	レッスン『賢者ナアタン』菅藤高德訳表紙	1921	大正10年	木版、紙	笠間日動美術館
	「地藏と鬼」	1921頃	大正10年頃	紙本墨画淡色	笠間日動美術館
	「地藏と鬼」	1921	大正10年	紙本墨画淡色	笠間日動美術館
	武者小路実篤全集装丁画画稿	1923頃	大正12年頃	水彩、紙	笠間日動美術館
	室生犀星詩文集『高麗の花』表紙	1924	大正13年	水彩、紙	笠間日動美術館
II 超克—写真から写意へ—					
岸田 劉生	彩果五題(葡萄、枇杷)	制作年不詳	—	木版、紙	笠間日動美術館
	彩果五題(苺)	制作年不詳	—	木版、紙	笠間日動美術館
	彩果五題(パイナップル)	制作年不詳	—	木版、紙	笠間日動美術館
	彩果五題(桃、みかん)	制作年不詳	—	木版、紙	笠間日動美術館
	彩果五題(林檎、柿、ざくろ)	制作年不詳	—	木版、紙	笠間日動美術館
	秋閑	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	一柿	1923	大正12年	紙本彩色	笠間日動美術館
	りんご	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	蕪	1925	大正14年	絹本彩色	笠間日動美術館
	蓮根	1925	大正14年	紙本彩色	笠間日動美術館
	たけのこ	制作年不詳	—	墨、紙	笠間日動美術館
	静物	制作年不詳	—	絹本彩色	笠間日動美術館
	南国の果物	1925	大正14年	紙本彩色	笠間日動美術館
	果子図	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	枇杷図	1925	大正14年	紙本墨画	笠間日動美術館
	桃	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	百果競甘	1924	大正13年	紙本彩色	笠間日動美術館
	四時競甘	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	向寒三色	制作年不詳	—	絹本墨画	笠間日動美術館
	初秋小彩	1922	大正11年	絹本彩色	笠間日動美術館
	小壺含秋	1922	大正11年	紙本彩色	笠間日動美術館
	たけのこくわいの皿	制作年不詳	—	陶器に彩色	笠間日動美術館
	絵皿五客	制作年不詳	—	陶器に彩色	笠間日動美術館
	ものの皿	1926	昭和元年	陶器に彩色	笠間日動美術館
	九夏錦裏図	1924	大正13年	紙本彩色	笠間日動美術館
	石榴小禽図	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	調脂弄粉	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	二友清交	1928	昭和3年	絹本墨画淡彩	笠間日動美術館
	梅枝之図	1925	大正14年	絹本彩色	笠間日動美術館
	帯 松籟	制作年不詳	—	絹本彩色	笠間日動美術館
	あざみ	1924	大正13年	紙本彩色	笠間日動美術館
	蓮根	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館

作家名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	素材・技法	所蔵先
Ⅱ 超克一写真から写意へー					
岸田 劉生	白桃	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	桃の実	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	歳寒三友	1926	昭和元年	紙本墨画淡彩	岐阜県美術館
	狛図	1921	大正10年	紙本彩色	笠間日動美術館
	鳩図	1924	大正13年	紙本彩色	笠間日動美術館
	猫図	1926	大正15年	紙本彩色	笠間日動美術館
	兎	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	綿うさぎ之図	1929	昭和4年	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	漁師之図	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	童女煎茶	1922	大正11年	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	七童図	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	樹下喜遊	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	竹林七童図	1924	大正13年	紙本彩色	笠間日動美術館
	春閑小流	1925	大正14年	紙本彩色	笠間日動美術館
	歳寒三友之図	1927	昭和2年	紙本彩色	笠間日動美術館
	歳寒三友之図	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	富士山遠望 鵠沼より丹沢連峯と白梅	1926-27	大正15-昭和2年	墨、紙	笠間日動美術館
	漁樵問答	制作年不詳	—	紙本彩色	笠間日動美術館
	塘芽菴閑居図	1926-29	大正15-昭和4年	紙本彩色	笠間日動美術館
	画人無為	1926	大正15年	紙本彩色	笠間日動美術館
	童女戯遊	1926	大正15年	木版・手彩色、紙	笠間日動美術館
	拾得図	1928	昭和3年	絹本墨画彩色	笠間日動美術館
	拾得子之図	制作年不詳	—	絹本墨画彩色	笠間日動美術館
	寒山拾得図	1926	大正15年	紙本墨画彩色	笠間日動美術館
	菊慈童	1926	大正15年	絹本彩色	笠間日動美術館
	劉生自像	1929	昭和4年	紙本彩色	笠間日動美術館
	艸川帳に題す	1923	大正12年	墨、紙	笠間日動美術館
	不老門	1929	昭和4年	墨、紙	笠間日動美術館
	百事如意	制作年不詳	—	紙本墨画淡彩	笠間日動美術館
	資料、その他				
	『劉生画集及芸術観』（書籍）	1920	大正9年		笠間日動美術館
	デスマスク	1929	昭和4年	ブロンズ	笠間日動美術館
	「精錡水」目薬、岸田吟香「楽善堂」	—	—		笠間日動美術館
	『桐陰雑誌』東京高等師範学校附属中学桐陰会	1924	明治39年		個人蔵
	『劉生画集及芸術観』（書籍）	1920	大正9年		個人蔵
	加藤延三宛岸田劉生書簡（加藤延三資料より）	—	—		個人蔵
	加藤延三 素描	1919	大正8年	鉛筆、紙	個人蔵
	岸田劉生写真（冠者幸作資料より）	—	—		個人蔵

三菱一号館美術館共同企画1894 Visions

ロートレックとその時代出品目録

作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
第1章 パリ・モダン					
		世紀末パリ関連資料			岐阜県美術館
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	展覧会の招待状	1898	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
ギュスターヴ・モロー	(1826-1898)	ピエタ	1854	油彩/画布	岐阜県美術館
エドガー・ドガ	(1834-1917)	ラファエルロ《アテネの学園》の模写	1857-58	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
ジャン＝フランソワ・ミレー	(1814-1875)	ミルク缶に水を注ぐ農婦	1859	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
アルフレッド・シスレー	(1839-1899)	ルーヴシエンヌの一隅	1872	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
クロード・モネ	(1840-1926)	草原の夕暮れ	1888	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
ポール・セザンヌ	(1839-1906)	リンゴとテーブルクロス	1879-80頃	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
カミーユ・ピサロ	(1830-1903) (1830-1903)	牛の番をする農婦、モンフコー 窓から見たエラニーの通り、ナナカマドの木	1875 1887	油彩/画布 油彩/画布	岐阜県美術館(田口コレクション) 三菱一号館美術館 寄託
エミール・ベルナール	(1868-1941)	ボンタヴェンの市場	1888	油彩/画布	岐阜県美術館
ポール・セリュジエ	(1864-1927)	森の中の焚火	1889-90頃	油彩/画布	岐阜県美術館
山本芳翠	(1850/嘉永3-1906/明治39)	裸婦【重要文化財】	1880(明治13)頃	油彩/画布	岐阜県美術館
山本芳翠挿画、 ジュディット・ゴージェ		『蜻蛉集』	1884(明治17)刊行	活版印刷/和紙(冊子)	岐阜県美術館
山本芳翠他挿画、 ロベール・ド・モンテスキュー		『蝙蝠』	1892(明治25)	書籍	岐阜県美術館
山本芳翠画		『パリ・イリュストレ』カレンダー	1884	冊子	岐阜県美術館
山本芳翠他挿画、 ロジャン・フルー		『愛しき人』	1886	書籍	岐阜県美術館
山本芳翠	(1850/嘉永3-1906/明治39)	ヴェルサイユにて 若い娘の肖像	1880(明治13)頃 1880(明治13)頃	水彩/紙 油彩/画布	岐阜県美術館 岐阜県美術館
黒田清輝	(1866/慶応2-1924/大正13)	摘草	1891(明治24)	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
ピエール＝オーギュスト・ ルノワール	(1841-1919) (1841-1919)	長い髪をした若い娘(あるいは麦藁帽子の 若い娘) 麦藁帽子の若い娘	1884 1888-90頃	油彩/画布 油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託 三菱一号館美術館 寄託
アリスティド・マイヨール	(1861-1944)	山羊飼いの娘	1890頃	油彩/画布	岐阜県美術館
カミーユ・ピサロ	(1830-1903)	エラニーのロックおばさんの農園	1893	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
オディロン・ルドン	(1840-1916)	風景【特別出品】 樹(樹のある風景の中の二人の人物) 曲がりくねった樹 骸骨 絶対の探究…哲学者 沼の花 顕現 気球 手稿 悲嘆 ダブル・プロフィール 『夢のなかで』VIII. 幻視 蜘蛛 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い 出のために)』VI. 日の光 眼をとじて	制作年不詳 1865頃 制作年不詳 1880頃 1880 1880-85頃 制作年不詳 1883 1894頃 1893頃 制作年不詳 1879 1887 1891 1890	インク/紙 木炭/紙 木炭/紙 木炭/紙 木炭/紙 木炭/紙 木炭/紙 木炭、黒チョーク/紙 木炭/紙 木炭/紙 ベン、木炭/紙 リトグラフ/紙 リトグラフ/紙 リトグラフ/紙	岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館(田口コレクション) 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館

作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	所蔵館
第2章 ロートレックと世紀末パリ 1894					
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	『レスタンブ・オリジナル』第1年次のための表紙	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
カミーユ・マルタン	(1861-1898)	『レスタンブ・オリジナル』第2年次の表紙	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
カミーユ・ピサロ	(1830-1903)	『レスタンブ・オリジナル』オスニー風景	1894	ドライポイント/紙	三菱一号館美術館
フェリックス・ヴァロットン	(1865-1925)	『レスタンブ・オリジナル』入浴	1894	木版/紙	三菱一号館美術館
カミーユ・ピサロ	(1830-1903)	『レスタンブ・オリジナル』水浴の女たち	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	『レスタンブ・オリジナル』最終号の表紙	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ	1891	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		エルドラド、アリストイド・ブリュアン	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		悦楽の女王	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		アリストイド・ブリュアン、彼のキャバレーにて	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		アリストイド・ブリュアン	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		アリストイド・ブリュアン	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		コンフェッティ	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		54号室の女船客	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		金色の怪人面のある机敷席	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『昔語り』扉絵	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ムーラン・ルージュにて、「仏露同盟」	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ムーラン・ルージュの舞踏会	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		コーデュー	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ディヴァン・ジャポネ	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジャヌ・アヴリル (ジャルダン・ド・パリ)	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
オーギュスト・ロダン	(1840-1917)	イヴ	1883頃	大理石	岐阜県美術館 (田口コレクション)
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	メイ・ベルフォール	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		メイ・ミルトン	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		メイ・ミルトン	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『ザ・チャップ・ブック』誌	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『ザ・チャップ・ブック』誌	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		マルセル・ランデル嬢、胸像	1895	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジャヌ・アヴリル	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』(ポスター)	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』表紙	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』座る女道化師—シャユ=ユ=カオ嬢	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』盆を持つ女—朝食 (パロン夫人とボボ嬢)	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』横たわる女—目覚め	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』行水の女—たらい	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』体を洗う女—身繕い	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』鏡を見る女—手鏡	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』髪を梳る女—髪結い	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』寝台の女、横顔—朝の目覚め	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』コルセットの女—束の間の征服	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『彼女たち』仰向けの女—倦怠	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『イヴェット・ギルベール』表紙	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		「ピエロにはコロンビーヌ」のイヴェット・ギルベール	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		イヴェット・ギルベール	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
フェリックス・ヴァロットン	(1865-1925)	『息づく街パリ』表紙	1894	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』口絵	1894	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』II. 歌う人々	1893	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』III. プタ箱送り	1893	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』IV. 切符売り場	1893	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』V. 学生たちのデモ行進	1893	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』VI. 事故	1893	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館
		『息づく街パリ』VII. にわか雨	1894	ジンコグラフ/紙	三菱一号館美術館

作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	所蔵館	
フェリックス・ヴァロトン		自殺	1894	木版/紙	三菱一号館美術館	
		処刑	1894	木版/紙	三菱一号館美術館	
		狼狽	1894	木版/紙	三菱一号館美術館	
		婦人帽子屋	1894	木版/紙	三菱一号館美術館	
		怠惰	1896	木版/紙	三菱一号館美術館	
		『アンティミテ』版木破棄証明のための刷り	1898	木版/紙	三菱一号館美術館	
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	ムーラン・ルージュにて、ラ・グーリュとその姉	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		ムーラン・ルージュにて、ラ・グーリュとその姉	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		ムーラン・ルージュのイギリス人	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		ムーラン・ルージュのイギリス人	1892	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		ロイ・フラー嬢	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		ロイ・フラー嬢	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		婦人帽子屋ルネ・ヴェール	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		婦人帽子屋ルネ・ヴェール	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		婦人帽子屋ルネ・ヴェール	1893	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『ドイツのバビロン』	1894	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		シンブソンのチェーン	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
マイケルの自転車	1896	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館			
モーリス・ドニ	(1870-1943)	ばら色の船	1893	リトグラフ/紙	岐阜県美術館	
ピエール・ボナール	(1867-1947)	『パリ生活の小景』表紙	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』中庭をかこむ家	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』上から見た町	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』野菜売り	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』橋	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』劇場にて	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』夕暮れの雨の町	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』凱旋門	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
		『パリ生活の小景』上から見た街角	1899	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館	
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	(1864-1901)	ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	あひる	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	かたつむり	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	蜘蛛	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	ひき蛙	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	牛	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
		ジュール・ルナール『博物誌』挿絵	ろば	1897	リトグラフ/紙	三菱一号館美術館
ポール・ゴーギャン	(1848-1903)	洗濯女たち	1889	ジンコグラフ/紙	岐阜県美術館	
		ステファヌ・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、 エングレービング/紙	岐阜県美術館	
第3章 世紀末パリと日本人画家						
山本芳翠	(1850/嘉永3-1906/明治39)	浦島	1893-95 (明治26-28) 頃	油彩/画布	岐阜県美術館	
北蓮蔵	(1876/明治9-1949/昭和24)	午の憩	1916 (大正5)	油彩/画布	岐阜県美術館	
明治美術会		明治美術会通常会員画帖『小宴紀念』 石井鼎湖《農婦》 石田益敏《風景》 印藤真樞《虚鐸之秘曲》 波々伯郎捨四郎《伯爵伊藤博文君肖像》 原田直次郎《風景》 本多錦吉郎《野路のむら雨》 東城鉦太郎《軍人のいる風景》 渡辺文三郎《松島秋月》 渡部金秋《清盛之栄花 (清盛の栄華)》 渡部審也《鹿のいる風景》 河久保正名《海辺風景》 亀井至一《少女》 高橋勝蔵《米国カルフォルニア州タマルパエス山真景》 高橋源吉《山地師団長飲料水ヲ搜索ス》 中沢弘光《川の漁》 能勢鶴次郎《静物》 岡田三郎助《積葉》	1895 (明治28)		岐阜県美術館	

作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	所蔵館
		久米桂一郎《猿橋首夏》 山本芳翠《金州（錦州）》 松井昇《晩春》 小山正太郎《野津中將青石関ヲ過ク》 小柴英侍《東照宮の景》 合田清《威海衛ノ進撃》（黒田清輝原画） 浅井忠《王師入遼東》 斎藤知三《萬歳寿康（吉備津社真景）》 佐野昭《彫刻写真（可善真手命像）》 菊池鍬太郎《彫刻写真》 三宅克己《蓋平城東門図》 小代為重《静物》			
浅井忠	(1856/安政3-1907/明治40)	婦人像 花鳥	制作年不詳 1904（明治37）	水彩/紙 油彩/画布	岐阜県美術館 三菱一号館美術館
オディロン・ルドン	(1840-1916)	月桂冠をかぶった女の横顔 窓辺の女 花の粹組みの中の左向きの横顔 まなざし 神秘的な対話 翼のある横向きの胸像（スフィンクス） オフィーリア アポロンの戦車	制作年不詳 1890年代 1890年代 1889-94頃 1896頃 1898-1900頃 1901-02頃 1906-07頃	木炭/紙 木炭/紙 木炭、チョーク、黒鉛/紙 パステル、木炭、チョーク/紙 油彩/画布 パステル、木炭、白チョーク/紙 油彩/紙 油彩/画布	岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館
ポール・ゴーギャン	(1848-1903)	『ノア ノア』ナヴェナヴェ・フェヌア（かぐわしき大地） 『ノア ノア』テ・ファルル（愛しあう） 『ノア ノア』アウティ・テ・パペ（川岸の女たち） 『ノア ノア』ノアノア（かぐわしい） 『ノア ノア』マーナ・ノ・ヴァル・イノ（悪霊の日） 『ノア ノア』テ・ポ（大いなる夜） 『ノア ノア』宇宙創造 『ノア ノア』テ・アトゥア（神々） 『ノア ノア』マナオ・トゥパパウ（彼女は死霊のことを考えている） 『ノア ノア』マルル（感謝） イア・オラナ・マリア（マリア様にご挨拶） タヒチ風景 十字架の下のマグダラのマリア 人物のいるマルケサス諸島の風景 または「楽園」	1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1893-94 1894頃 1894頃 1894 1902頃	木版、手彩色/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 木版/紙 水彩によるモノタイプ/紙 水彩によるモノタイプ/紙 水彩によるモノタイプ/紙 水彩によるモノタイプ/紙	岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館 岐阜県美術館
ポール・セリュジエ	(1864-1927)	急流のそばの幻影 または妖精たちのランデヴー	1897	油彩/画布	岐阜県美術館
モーリス・ドニ	(1870-1943)	なでしこを持つ若い女	1896	油彩/画布	岐阜県美術館
ポール・セリュジエ	(1864-1927)	消えゆく仏陀ーオディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩/画布	岐阜県美術館
藤田嗣治	(1886/明治19-1968/昭和43)	十字架の見える風景【特別出品】	1920頃	油彩/画布	岐阜県美術館
アンリ・ル・シダネル	(1862-1939)	月下の川沿いの家	1920	油彩/画布	岐阜県美術館
クロード・モネ	(1840-1926)	プティ・タイの岬、ヴァランジュヴィル	1897	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
ピエール・ピュヴィ・ド・シャヴァンヌ	(1824-1898)	《慈愛》のための習作	1893-94頃	油彩/紙	岐阜県美術館
エドモン＝フランソワ・アマン＝ジャン	(1858-1936)	婦人・秋	1923	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
オディロン・ルドン	(1840-1916)	ポール・ゴビヤールの肖像 オリヴィエ・サンセルの屏風	1900 1903	パステル/紙 デトランプ、油彩、グワッシュ/画布	岐阜県美術館 岐阜県美術館
エミール・アントワヌ・ブールデル	(1861-1929)	アポロンのマスク	1900年	ブロンズ	岐阜県美術館

作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	素材・技法	所蔵館
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	(1841-1919)	泉 パリの審判	1910頃 1908	油彩/画布 油彩/画布	岐阜県美術館 三菱一号館美術館 寄託
梅原龍三郎	(1888/明治21-1986/昭和61)	読書	1911 (明治44)	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
藤島武二	(1867/慶応3-1943/昭和18)	浴室の女 ローマの古城趾【特別出品】 書見する女	1906-07 (明治39-40) 頃 1908頃 1910 (明治43)	油彩/画布 油彩/画布 油彩/画布	岐阜県美術館 岐阜県美術館 三菱一号館美術館 寄託
オディロン・ルドン	(1840-1916)	青い花瓶の花々 黒い花瓶のアネモネ	1904頃 1905頃	パステル/紙 パステル/紙	岐阜県美術館 岐阜県美術館
坂本繁二郎	(1882/明治15-1969/昭和44)	うすれ日	1912 (明治45/大正元)	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
青木繁	(1882/明治15-1911/明治44)	海	1904 (明治37)	油彩/板	岐阜県美術館 寄託
岸田劉生	(1891/明治24-1929/昭和4)	自画像	1914 (大正3)	油彩/画布	岐阜県美術館
木村荘八	(1893/明治26-1958/昭和33)	パンの会	1928 (昭和3)	油彩/画布	岐阜県美術館 寄託
坂本繁二郎	(1882/明治15-1969/昭和44)	二仔馬	1935 (昭和10)	油彩、木炭/画布	三菱一号館美術館 寄託
藤島武二	(1867/慶応3-1943/昭和18)	日の出	1931 (昭和6) 頃	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
安井曾太郎	(1888/明治21-1955/昭和30)	鶺鴒風景 菊	1935 (昭和10) 1936 (昭和11)	油彩/画布 油彩、鉛筆/画布	三菱一号館美術館 寄託 三菱一号館美術館 寄託
和田英作	(1874/明治7-1959/昭和34)	春日山麓	1938 (昭和13)	油彩/画布	三菱一号館美術館 寄託
梅原龍三郎	(1888/明治21-1986/昭和61)	紫禁城	1940 (昭和15)	グワッシュ、顔料、油彩/紙	三菱一号館美術館 寄託
アリスティド・マイヨール	(1861-1944)	地中海	1902-05	ブロンズ	岐阜県美術館 (田口コレクション)

1-3 共催展など

清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020

2020/4/18[土]-6/14[日]

→ 2020/6/2[火]-7/5[日]に変更

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE(AAIC)」は、想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とした、全国規模の企画公募展として、3年に1回開催することとしており、2017年に初めて開催し、第2回を2020年に開催した。

AAIC2020は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応等のため、4月の開幕を6月に延期して開催したが、30日間の会期中に7,759人の来場者があった。

概要

会場:岐阜県美術館 展示室3, 4及び庭園
岐阜県図書館 庭園

入場料:無料

主催:清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会、岐阜県

テーマ:記憶のゆくえ

出品数:18点(応募件数 710件)

観覧者:7,759人

作品リストは39ページ

審査員

遠藤利克(彫刻家)

川口隆夫(ダンサー・パフォーマー)

篠原資明(詩人・美術評論家/高松市美術館館長)

高嶺格(美術家/多摩美術大学教授)

福岡伸一(生物学者/青山学院大学教授)

藤森照信(建築家/東京都江戸東京博物館館長)

村瀬恭子(画家/多摩美術大学教授)

関連企画

開催中止



令和2年度 岐阜県青少年美術展 2020/6/27[土]-7/5[日]→開催中止

清流の国ぎふ芸術祭

Art Award IN THE CUBE 2020

作家名	作品名	制作年
占部 史人	空とカタツムリ	2020
ADRIAN O.SALES	WE GO ON	2020
大西 康明	時間の溝	2020
大貫 仁美	秘められた、その「傷」の在処	2020
笠原 巧	無秩序の中の秩序	2020
川角 岳大	私たちの知らない犬	2020
北川 純	質量保存の法則	2020
高橋 臨太郎	Phantom container	2020
竹中 美幸	記憶の音	2020
宙宙	cloud	2020
橋本 哲史	こちら、1001	2020
平田 昌輝	Artifact 19-2	2020
御宿 至	SOMETHING GREAT~記憶の風景~	2020
森本 孝	そして、「宇宙の子」は、自ら造った「灰かに酔っているAI」と対決する。	2020
保良 雄	beclouded,becalmed,belighted	2020
山本 麻璃絵+姫野 亜也	石斧をモチーフにした石斧の彫刻	2020
Yuni Hong Charpe	Repeat	2020
W.N.project	Light NOW-イマココ	2020